

# クリンテートSKの効果確認試験

JAきょうわ

岡崎 和一



ハウス内



天井保管



展張時



展張時②



SKのメロン



他メロン

## 試験目的

クリンテートSKの効果確認

## 試験作物 及び品種

メロン(ルピアレッド)

## 試験資材 及び数量(規格)

クリンテートSK(0.1mm×900cm×105m)

## 慣行資材

カゲナシ5

## 資材使用期間

4月5日～7月30日

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

特にないが、フィルムが思ったよりも白くて驚いた。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

温度が上がらず開花で慣行品と比べて3日遅れ、収穫も2日遅れた。早い作(4月5日定植)に使用したため7月の高温期はちょうど良いと感じる。

### (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 暑い時期の遮熱

【問題点】: 慣行品と比べると影がしやすい

### (4)促成・抑制効果について

遮熱効果があるために温度が上がらず抑制効果になってしまう。窒素分が遮熱によって吸わなくなり、メロンの味の繊維質が強くなってしまふ。

### (5)保温効果について

積算温度が慣行品と比べて低いため、メロンを片づけて次の作業に取り掛かれない。今回はルピアレッドだったがティアラにして暑い時期に試そうかと検討している。

## モニター感想

温度が上がりにくすぎて困るようであれば良い資材と感じるが、早い作型であると向かないと感じた。

メロンは風も入れないと病気になるため、保温のため換気をしないというわけにもいかない。

メロンの味も若干繊維質が強くなるが、この後少し置いてみるとまた違う結果になるかもしれない。しかし結局栽培期間が長くなってしまったため作業が遅れると思う。

## JA担当者の感想(吉田氏)

今年のように6月が曇天続きの場合はハウス内の温度が上がりにくいということもあったが、例年通りの天候と気温で遅い作型であるとより良い結果が出たと思われる。

## 今後の使用について

継続して使用したい。

来年もう少し遅い作型で試験をしてみたい。